

平成 25 年度牧草類優良品種選定試験  
（ギニアグラス、ローズグラス）

三谷英嗣・川田建二

Selection test for excellent variety of grasses.  
(Guinea grass, Rhodes grass)  
(2013. 4~2014. 3)

Hidetsugu MITANI, Kenji KAWADA

要 約

夏の牧草のギニアグラス 2 品種、およびローズグラス 2 品種を栽培し、それぞれの収量について調査した。

その結果、多回刈りをする場合、ギニアグラスでは「ナツカゼ」が、ローズグラスでは「カリーデ」が良好な成績であった。

緒 言

夏の牧草については数多くの品種（銘柄）の種子が一般に販売され、さらには毎年数種の新品種の種子も発売されており、自給飼料生産者は、その種子の選択に苦慮しているところである。そこで今回、「飼料作物系統適応性検定試験実施要領」（改訂 5 版）に基づき栽培収穫し、それぞれの収量について調査した。

材料および方法

1. 供試品種（銘柄）名

ギニアグラス：ナツカゼ、ナツサカリ

ローズグラス：アサツユ、カリーデ

2. 試験区面積・区制 1 区面積 6 m<sup>2</sup>・4 区制（4 反復）

3. 栽培概要

(1) 播種期 : 平成 25 年 4 月 22 日

(2) 播種法 : 条播（畦間 30cm）

(3) 播種量 : 150g/a

(4) 施肥量(kg/a)

堆肥	:	300kg	苦土石灰	:	10kg
基肥	N	0.84	P205	1.65	K20 0.72
追肥	N	0.64	P205	—	K20 0.64（各刈取毎）

結 果

平成 25 年度牧草類優良品種選定試験（ギニアグラス、ローズグラス）

1. 気象概要

気温：6月、7月、8月、10月がやや高い。

降水量：8月がやや多く、6月、9月、10月はかな多い。

7月がやや少なく、5月はとんど無い。

日照時間：4月、8月がやや多く、5月、7月、9月は多い。

6月がやや少ない。

(図 1、図 2、図 3 参照)

(2) 生育概要

1) ギニアグラス

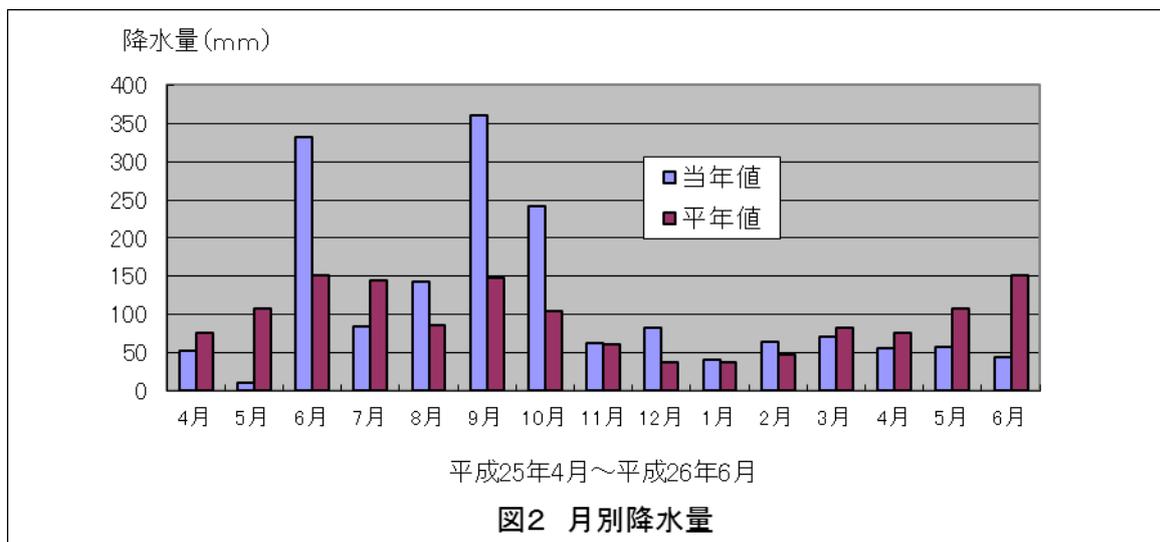
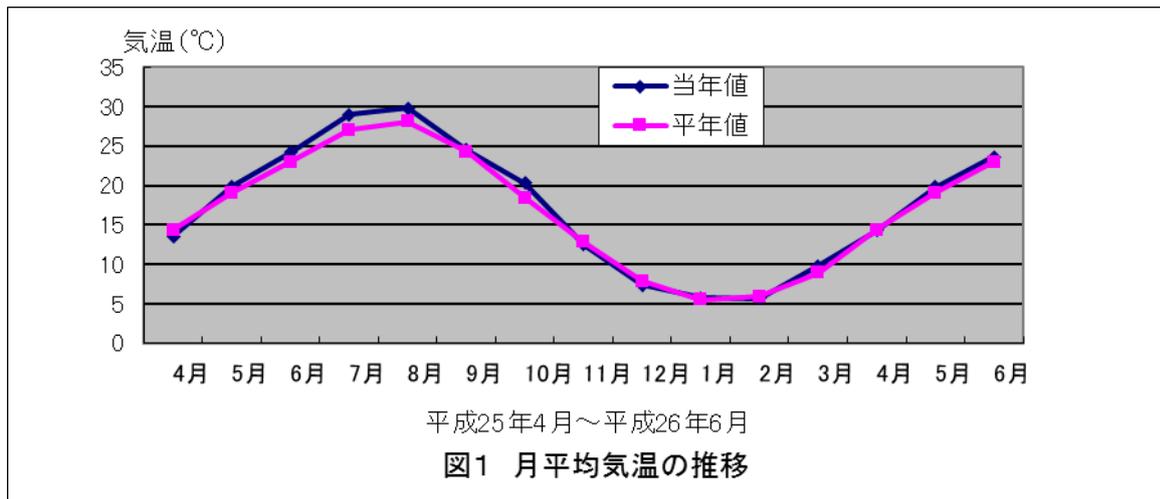
生草収量、乾物収量ともに1番草から4番草まで終始「ナツカゼ」の方が多かった。

(表 1、表 2、表 3、表 4 参照)

2) ローズグラス

乾物収量は1番草2番草4番草で「カリーデ」が、3番草で「アサツユ」が多かった。合計の生草収量、乾物収量はともにどの段階においても「カリーデ」が多かった。

(表 5、表 6、表 7、表 8 参照)



平成 25 年度牧草類優良品種選定試験（ギニアグラス、ローズグラス）

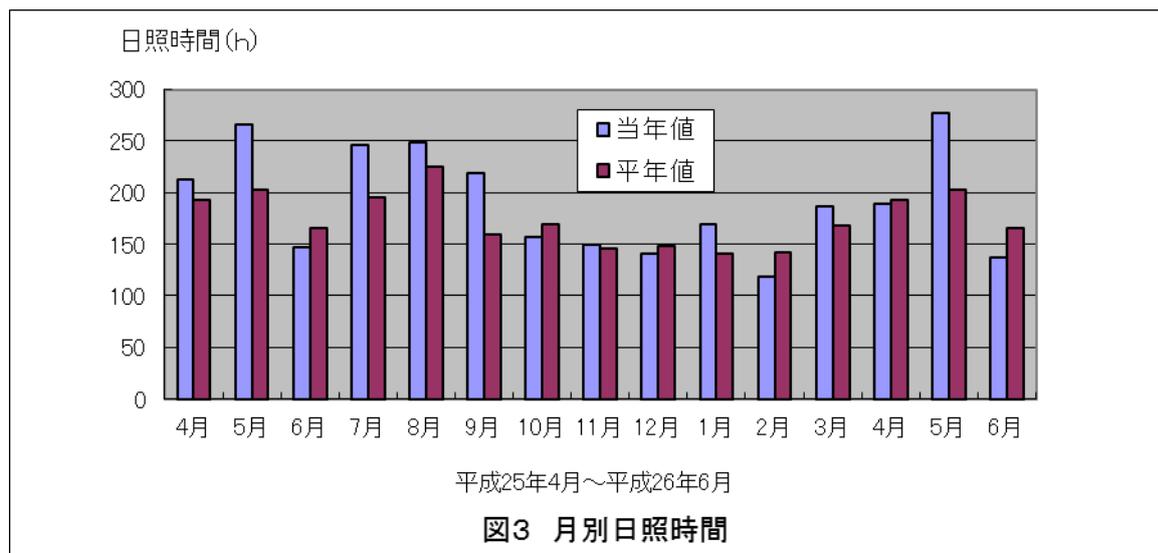


表 1

調査項目	発芽良否	定着時草勢	出穂始	刈取時出穂程度		
				1番草	2番草	3番草
品種・系統	1～9評点	1～9評点	(月日)	1～9評点(刈取日)		
ナツカゼ	5	5	7/3	4 (7/9)	5 (8/20)	2 (9/24)
ナツサカリ	5	5	7/6	3 (7/9)	4 (8/20)	3 (9/24)

表 2

調査項目	倒伏程度			草丈		
	1番草	2番草	3番草	1番草	2番草	3番草
品種・系統	1～9評点	1～9評点	1～9評点	c m	c m	c m
ナツカゼ	1	1	1	156.0	174.0	132.0
ナツサカリ	1	1	1	153.0	163.0	137.0

表 3

調査項目	生草収量				乾物率			
	1番草	2番草	3番草	合計	1番草	2番草	3番草	平均
品種・系統	kg/a	kg/a	kg/a	kg/a	%	%	%	%
ナツカゼ	368.5	427.8	285.4	1081.7	14.5	17.3	18.3	16.7
ナツサカリ	322.1	356.4	259.8	938.3	14.3	16.2	18.7	16.4

表 4

調査項目	乾物収量			
	1番草	2番草	3番草	合計
品種・系統	kg/a	kg/a	kg/a	kg/a
ナツカゼ	53.4	73.2	52.3	178.9
ナツサカリ	46.0	57.1	48.3	151.4

平成 25 年度牧草類優良品種選定試験（ギニアグラス、ローズグラス）

表 5

調査項目	発芽良否	定着時草勢	出穂始	刈取時出穂程度					
				1番草		2番草		3番草	
品種・系統	1～9評点	1～9評点	(月日)	1～9評点(刈取日)					
アサツユ	5	5	7/8	5	(7/16)	5	(8/27)	6	(10/1)
カリーデ	5	5	7/11	4	(7/16)	4	(8/27)	4	(10/1)

表 6

調査項目	倒伏程度			草丈		
	1番草	2番草	3番草	1番草	2番草	3番草
品種・系統	1～9評点	1～9評点	1～9評点	c m	c m	c m
アサツユ	1	1	1	128.0	139.0	102.0
カリーデ	1	1	1	141.0	144.0	111.0

表 7

調査項目	生草収量				乾物率			
	1番草	2番草	3番草	合計	1番草	2番草	3番草	平均
品種・系統	kg/a	kg/a	kg/a	kg/a	%	%	%	%
アサツユ	265.0	209.4	114.5	588.9	16.0	20.1	22.4	19.5
カリーデ	264.9	264.4	124.6	653.9	16.4	18.5	17.5	17.5

表 8

調査項目	乾物収量			
	1番草	2番草	3番草	合計
品種・系統	kg/a	kg/a	kg/a	kg/a
アサツユ	42.4	42.3	25.8	110.5
カリーデ	43.5	48.9	21.7	114.1

## 総 評

今回の結果では、ギニアグラスを作付する場合、「ナツカゼ」が乾物収量で期待でき、また、ローズグラスを作付する場合、「カリーデ」が期待できる結果となった。これらの成績をもとに、それぞれの作付形態や給与形態に合った品種の選定をし、自給飼料の増産に努めてもらいたい。